電子メール用ソフトウェア Mew の使い方

伊東栄典* 笠原義晃**

九州大学大型計算機センターのライブラリサーバ wisdom に，インターネット上の電子メール用やネットニュースを読み書きすることができるソフトウェア **Mew** をインストールしました．Mew のバージョンは 1.92.4 です．Mew は “Messaging in the Emacs World” の略で「みゅう」と読み，エディタ Mule で使用できます．以下に Mew の特徴を箇条書します．

- スペースキーによる簡単な操作系．
- メールの整頓先を賢く推測する (8.2 節参照)．
- 届いたメールの差出人アドレスを記憶し，メールを書く際に記憶したアドレスを補完する (7 章参照)．
- 電子メールの機能を拡張した MIME(Multipurpose Internet Mail Extensions) に対応している．
  - 複数の文書を同時に送受信するマルチパート機能を持つ (9 章参照)．
  - 画像や音声といったバイナリデータを送る事が出来る (9 章参照)．
- PGP(Pretty Good Privacy)[2] を使って，メールを簡単に暗号化したり，署名できる．また PGP で暗号化されたメールを自動的に復号化できる．

ここでは Mew を用いて電子メールを読み書きする方法を簡単に説明します．詳細な説明は Mew の公式サイトにある WWW ページ (`http://www.mew.org/`) を参照して下さい．ただし Mew によるネットニュースの講読機能については，まだ機能が安定しているとは言えないので説明を行ないません．PGP の利用方法の説明は省略させていただきます．参考文献 [2] などや Mew の公式ページ等を参照して下さい．また最後の表 1 に Mew のキー操作一覧を載せていますのでご利用下さい．

1 Mew の使用環境

大型計算機センターのライブラリサーバ wisdom では，エディタ Mule 上で Mew を使用することができます．kterm や xterm などのコマンドプロンプト画面で `mule` と入力すると，Mule を起動することができます．Telnet などの端末ソフトウェアで wisdom にログインしている場合も，`mule` と入力すると，その端末ウィンドウ内に Mule が起動します．

2 Mew 利用の準備

Mew を利用する場合，自分のホームディレクトリ下に設定をしておく必要があります．ここでは設定方法について説明します．

2.1 JIS コード

Mew ではメールの日本語文字コードを JIS コードで管理しています．しかしライブラリサーバ wisdom では，エディタ vi で電子メールを読み書きするユーザのために，電子メールを格納する文字コードに EUC を用いています．Mew を利用するためには，メールを格納している領域から，自分のホームディレクトリへメールを持ってくるさいに，文字コードを JIS に変更しておく必要があります．

JIS コードを指定する方法として，自分のホームディレクトリにある`~/.forward` ファイルに，

*九州大学大型計算機センター
E-mail:itou@cc.kyushu-u.ac.jp, http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/RD/itou/
**E-mail:kasahara@nc.kyushu-u.ac.jp, http://www.nc.kyushu-u.ac.jp/~kasahara/

自分の課題番号.jis

という記述を追加してください．.forward ファイルが無い場合は作成して下さい．例えば，課題番号 (ログイン名) が a70099a という方の場合，以下のような記述になります．

```
a70099a.jis
```

2.2 格納ディレクトリの作成

Mew を利用するためには，自分のホームディレクトリに電子メールを格納するディレクトリを作っておく必要があります．この作成を行なうために imsetup コマンドが用意されています．imsetup コマンドを実行すると，以下のように，メールを保存する Mail ディレクトリの作成，ネットニュースを保存する News ディレクトリの作成，.im ディレクトリの作成などの設定を対話的に行なってくれます．

```
wisdom % imsetup ↵
Where is your home directory? [/home/user/a70099a] ↵
Where is your Mail directory? [/home/user/a70099a/Mail] ↵
/home/user/a70099a/Mail does not exist. Create it? [yes] ↵
Creating /home/user/a70099a/Mail directory.
Directory /home/user/a70099a/Mail created.
Where is your News directory? [/home/user/a70099a/News] ↵
/home/user/a70099a/News does not exist. Create it? [yes] ↵
Creating /home/user/a70099a/News directory.
Directory /home/user/a70099a/News created.
What is your E-mail address(es)? [a70099a@wisdom] a70099a@wisdom.cc.kyushu-u.ac.jp ↵

Directory /home/user/a70099a/.im created.
Setup /home/user/a70099a/.im/Config.
wisdom % ■
```

上記の例は wisdom 上の自分のホームディレクトリに Mail/，News/，.im/ディレクトリが存在しない場合です．既に存在している場合には表示が少し異なります．

3 Mew の起動方法

Mule 上で M-x mew と入力すると Mew が起動します．M-x は，META(メタ) キーを押したまま x を押す操作，あるいは ESC(エスケープ) キーを 1 回押した後，離してから x を押す操作を表わします．図 1 に起動の様子を示します．

4 Mew の終了方法：q，Q

Mew が起動している Mule 上で，q を押すと Mule のバッファが Mew から別のバッファへ変更します．この場合，Mew が完全に終了したわけではありません．q の代りに大文字の Q を押すと，

```
Quit Mew? (y=RET or n=SPC)
```

と質問が来ます．ここでリターンキーを押すと，直ちに Mew が終了します．

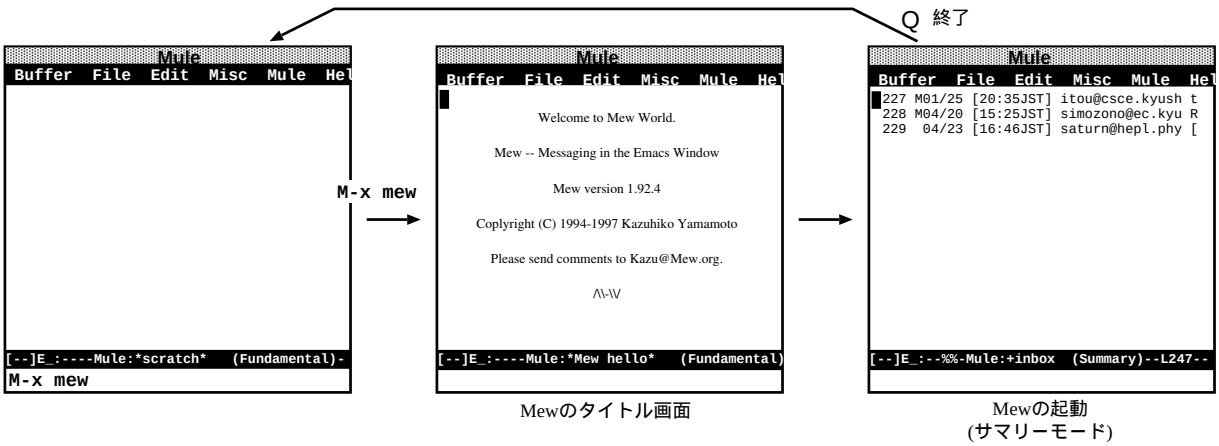

図 1: Mew の起動と終了

5 電子メールの受信，閲覧

M-x mew で Mew を起動すると，最初にオープニング画面が出た後，新着メールをチェックして，Mule の画面上部にメールの一覧が表示されます．この画面を Mew では「サマリーモード」と呼んでいます．

5.1 メールの表示：SPC，リターン，DEL

メールの読みかたは簡単です．読みたいメールにカーソルを合わせて，SPC(スペース) キーやリターンキーを押してください．すると Mew の画面が分割され，上部にはメールの一覧表示であるサマリーモードの画面が，下部にメールの本文が表示されます．

メールが 1 画面に入りきらない場合，続けて SPC キーを押せば本文が 1 画面分スクロールして表示されます．リターンキーを押せば 1 行分スクロールします．DEL キー (デリートキー) を押すと，メッセージが逆にスクロールします．

5.2 Mew 起動後に到着したメールの追加：i

Mew 起動より後に届いたメールは画面に表示されません．起動後に届いたメールが存在する場合，i を押すことで追加表示されます．

5.3 フォルダの移動：g

Mew の起動時には，inbox フォルダに入っているメールの一覧が表示されます．Mew ではリファイル操作により別のフォルダにメールを格納することができます．別のフォルダに入っているメールの閲覧や返事の作成を行なう場合は，フォルダを移動する必要があります．

カーソルがサマリモードに在る場合，g を押すと別のフォルダへ移動する事ができます．g を押すと移動先フォルダ名の指定を促されますので，移動したいフォルダ名を入力して下さい．フォルダ名の指定は TAB で補完する事ができます．

6　電子メールの送信

Mew のサマリーモードの領域にカーソルが在る場合，a,f,w といったキーを押すことで，メールを作成することができます．メールを作成するモードを Mew では「ドラフトモード」と呼んでいます．

6.1　新規メールの作成 (write)： w

w を押すと画面が変わり，ドラフトモードのバッファが開かれます．ここで新規メールの作成を開始します．To: に宛先，Subject: に題名を書き，

```
----
```

の後に本文を書いてください．To および Cc の宛先記述には，メールアドレスの補完機能 (7 章参照) が使えます．

6.2　返事メールの記述 (answer)：a，A

サマリモードで返事を出したいメールの上にカーソルを合わせ，a を押します．するとウィンドウが分割してドラフトモードが表示され，返事メールを作成できるようになります．相手のメールの引用はC-c C-y で行ないます．a の代りに大文字の A を押すと，返事メールに最初から相手のメールが引用されます．

6.3　メールの転送 (forward)：f

サマリーモードで転送したいメールの上にカーソルを合わせ，f を押すとマルチパート形式で転送メールを作成することができます．マルチパート形式については 9 章を参照して下さい．

6.4　署名 (シグネチャー) の挿入：C-c C-i

メールを沢山記述するようになると，毎回自分の所属などを記述するのが面倒になります．そこで予め所属や名前などの情報を記述した署名ファイルを用意しておき，そのファイルの記述をメールに挿入するという機能を多くのメーラーが提供しています．Mew でも署名ファイルの挿入機能を提供しています．

まず自分のホームディレクトリに署名ファイルを .signature という名前で用意します．メールの記述途中で C-c C-i と入力すると，カーソル位置に，署名ファイルの記述内容が挿入されます．

6.5　メールの送信：C-c C-m C-c C-c

メールの宛先，本文の記述が終了したら，C-c C-m と入力します．この操作は，MIME 用の情報を記入する操作です．9 章で述べているマルチパートメールの場合，パートの区切を表す文字列の挿入，パートの部分になるファイルをテキストにエンコードして取り込む操作などを行ないます．単なるテキストのメールの場合でも，メールのヘッダに送信するデータの種類を表す情報が書き込まれます．普通の日本語のメールならば，

```
Content-Type:  Text/Plain; charset=iso-2022-jp
```

という行がヘッダに追加されます．

C-c C-m を入力した後，C-c C-c と入力するとメールが送信されます．C-c C-m を入力せずに，C-c C-c を入力すると，

```
Content-Type: was automatically added. Send this message? (y=RET or n=SPC)
```

という警告がミニバッファに表示されます．この場合はリターンキーを押すと送信されます．

6.6 メールの作成取消：C-c C-q

メールを作成している途中で，メールの作成を取り止めたい場合があります．メールの作成取消は，カーソルをドラフトモード内に置いて C-c C-q と入力して下さい．すると，

```
Kill draft message? (y=RET or n=SPC)
```

と表示されます．ここでリターンキーを押すと作成途中のメールを破棄して，メールの作成を終了します．

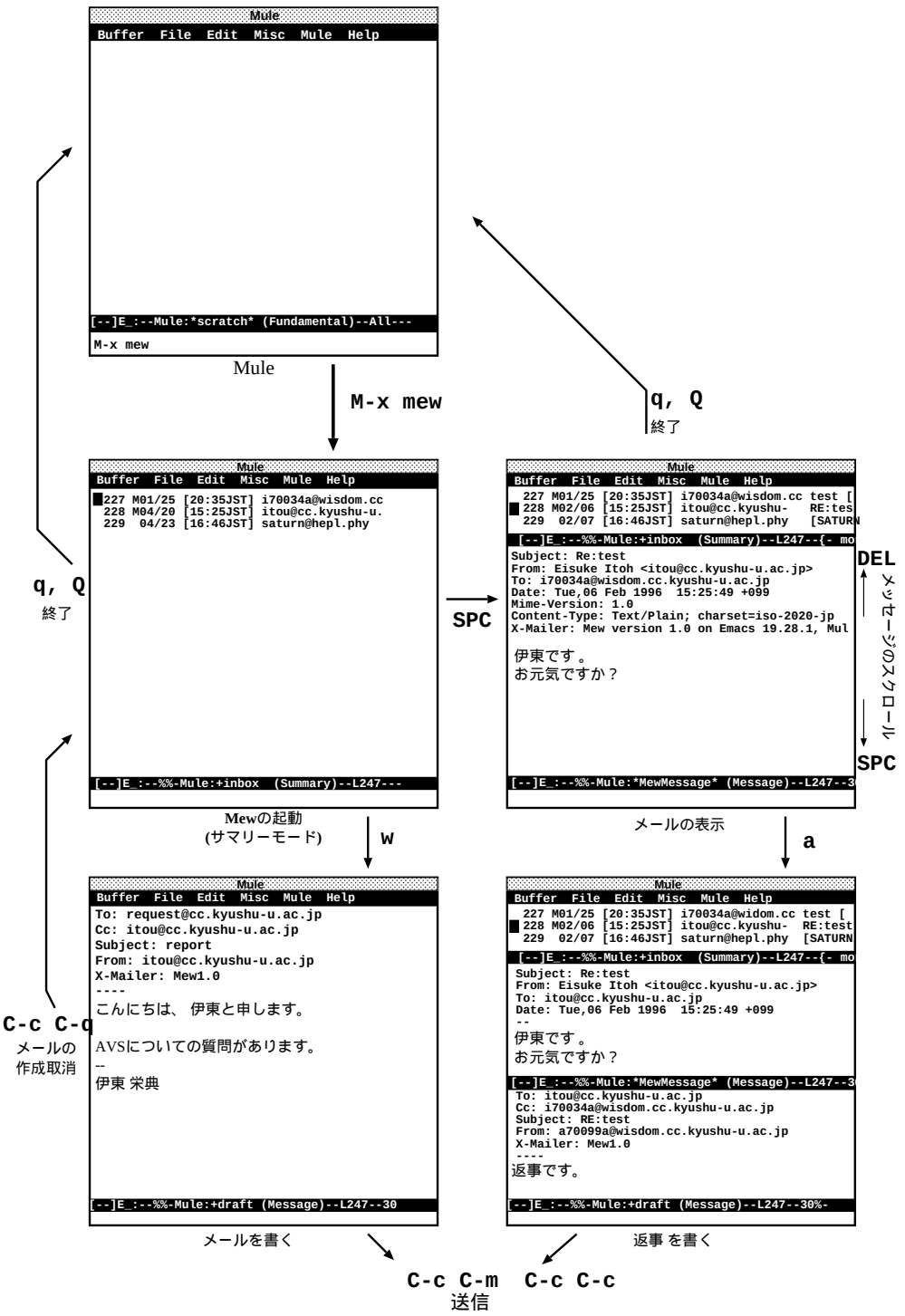

図 2: Mew の操作と画面変化

7　便利なアドレス補完機能：TAB

Mew には大変便利なメールアドレス補完機能があります．To: や Cc: などのメールアドレスを記述するフィールドでは，メールアドレスの一部を記述した後，TAB キーを押すことでアドレスの補完が可能です．二つ以上の候補がある場合，TAB キーを二回押すと，補完候補の一覧が表示されます．

補完されるアドレスには，以下の二種類があります．

7.1　Mew でリファイルしたことがあるメールに記述されているアドレス

自分に届いたメールを Mew でリファイルすると，そのアドレスが自動的にファイルに保存され，メールアドレスの補完候補に登録されます．リファイルについては 8.2 節を参照して下さい．

7.2　~/.im/Aliases ファイルでエイリアス指定しているアドレス

エイリアス名を途中まで入力して，TAB を押すとエイリアス名の補完になり，もう一度押すとメールアドレスに変わります．エイリアスファイルは ~/.im/aliases に，

alias1: アドレス 1, アドレス 2, アドレス 3
alias2: アドレス 4, アドレス 5, アドレス 6

という形式で記述します．

以前のバージョンの Mew では，エイリアスの指定は~/Mail/aliases ファイルなどに記述して，~/.mh_profile ファイルにAliasfile:　aliases と書いて使っていました．現在のバージョンでは~/.im/Aliases ファイルがメールアドレスのエイリアスを記述するファイルになっています．エイリアスを~/Mail/aliases に記述している場合，一度imsetup コマンドを実行すれば，~/.im/Aliases ファイルに記述を追加してくれます．

8　メールの整理

8.1　メールの削除 (delete)：d

保存の必要が無いメールやエラーメールなどは，フォルダ内から削除した方が読む場合にスッキリしていて便利ですし，ディスクスペースの有効利用にもなります．サマリモードでd を押すと，そのメールに削除対象である事を示すD マークが一覧の所に表示されます．しかし削除されたわけではありません．

メールを本当に削除する場合は，D マークを付けた後にx を押して下さい．マークの付いているメールはtrash フォルダへ移動されます．trash フォルダで同様の削除操作を行なうと，こんどは本当に削除されます．x を押すと削除以外に，以下で述べるリファイルも実行されます．

8.2　メールのリファイル (refile)：o

メールを沢山受け取るようになると，メールを内容毎に分類して整理したくなります．研究に関するメール，学会連絡，授業についてのメール，ゼミの連絡メール，等々内容に合わせてメールを分類しておくと後からメールを検索する事が楽になります．

届いたメールは，最初inbox というフォルダに入っています．o を押すと，メールを別のフォルダへ移動させる事ができます．

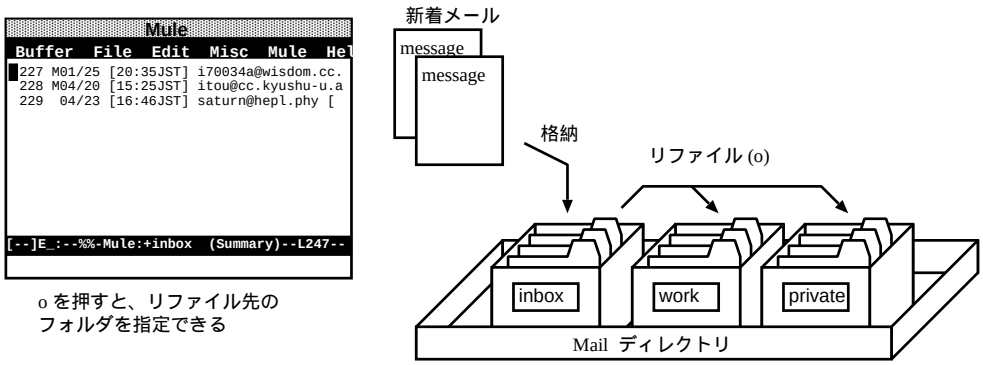

図 3: リファイル

o を押すと，リファイル先フォルダの指定を促されます．リファイル先のフォルダは，指定が無い場合はそのメールアドレスの，@より前の部分になります．自由に指定することも可能です．フォルダ名を入力してリターンキーを押しましょう．サマリモードのメール一覧にリファイル対象となっている事を表すo が付きます．メールを本当にリファイルする場合は，x を押して下さい．

既存のフォルダ名をリファイル先に指定する場合は，フォルダ名をTAB で補完する事ができます．たとえばprivate というフォルダ名の場合，pr まで入力してTAB キーを押せば，全部の名前が補完されて表示されます．

リファイル先のフォルダが現在存在しない場合，Mew はそのフォルダの作成を試みます．ミニバッファに

```
+フォルダ名 does not exit. Create it? (y=RET or n=SPC)
```

と表示されます．作成して良い場合はリターンキーを押しましょう．スペースキーを押すと，フォルダ作成を取り止め，同時にリファイル操作も取り止めます．

以前リファイル先を指定した事があるメールと同じ From 行を持つメールをリファイルする場合，以前指定したフォルダ名が表示されます．この機能の御陰で同一送信元からのメールは同一フォルダへ保存することが簡単に行えます．

8.3 操作の実行 (execute) と取消 (undo)：x，u，U

削除やリファイルといった操作は，最初はD やo といったマークが表示されるだけで，実際に操作が実行されるわけではありません．操作を実行するにはx を押してください．削除，リファイルといった操作が実行されます．

削除やリファイルの対象となっている事を取り消したい場合は，u を押して下さい．操作対象から取り消され，D やo といったマークの表示もなくなります．大文字のU を押すと，

```
Input mark :
```

と表示されます．ここで取消たいマーク，たとえばD を押すと，サマリーモード内の全てのD マークを取消すことができます．

8.4 フォルダのスキャン：s

フォルダには多数のメールを格納することができます．フォルダ内のメールを全部表示させたい場合は，スキャンを行なってください．s を押すことで，フォルダ内のメールをスキャンできます．s を押すとミニバッファに

```
Range (update):
```

と表示され，スキャンする範囲を尋ねられます．全部スキャンする場合はリターンキーを押して下さい．ただし

フォルダ内のメール数が沢山ある場合，表示に時間がかかります．表示するメールの数が少しで良い場合，例えば最後の 20 個だけ表示すれば良いという場合は，

```
Range (update): last:20
```

と入力して下さい．

8.5 メールの並べかえ：S

リファイルを繰返すと，フォルダ内にあるメールの番号が到着順序と異なる場合があります．時間順にメールを並べ変えたい場合，大文字の S キーを押して下さい．すると Mule の下部にあるミニバッファに，

```
Sort by? (default date):
```

と表示されます．リターンキーを押すと並べ替えを行ないます．並べ変えが終了すると，ミニバッファに

```
Range (update):
```

と表示されます．後はスキャンの場合と同様に表示するメールの範囲を指定して下さい．

8.6 メールのパック：O

リファイルを行なうと，メールの番号が飛び飛びの値になります．メールの番号を詰めたい場合は大文字の O を押します．すると詰め込み作業を開始します．詰め込み作業が終了すると，ミニバッファに

```
Range (update):
```

と表示されます．後はスキャンの場合と同様に表示するメールの範囲を指定して下さい．

8.7 ファイルに保存：y

メールをファイルに保存することができます．サマリーモードにカーソルがある場合，y を押すことでメールをファイルに保存できます．y を押すとミニバッファに

```
File: ~/
```

と表示されますので，保存するファイルの名を入力して下さい．マルチパートメールの場合，パートの一部をファイルとして保存する事も可能です．サマリーモードで保存したいパートにカーソルを合わせ y を押して下さい．この機能により添付ファイルなどを簡単にファイルに保存することができます．

9 マルチパートメール

Netscape や，Windows95 上のメーラーから図 4 のような表示で始まるメールを受け取った経験はないでしょうか．これは MIME (Multipurpose Internet Mail Extensions) [3] というメールの拡張機能を用いて，複数の部分 (パート) を一つのメールに入れたものです．マルチパートメールは，ディレクトリとファイルといった関係に似ています．メール全体が一つのディレクトリで，一つ一つのパートがデータを表わすファイルと考えると分りやすいかもしれません．ファイルシステムと同様に，階層構造を持ったマルチパートメールを作成する事も可能です．

```
Date: Tue, 01 Sep 1998 20:04:08 +0900
From: Eisuke Itoh <itou@cc.kyushu-u.ac.jp>
X-Mailer: Mozilla 4.5b1 [en] (Win95; I)
X-Accept-Language: en
MIME-Version: 1.0
To: itou@cc.kyushu-u.ac.jp
Subject: Multipartmail HTML
Content-Type: multipart/alternative;
 boundary="------------30D8B31A919825B7C6ECAAF2"
Content-Length: 933


--------------30D8B31A919825B7C6ECAAF2
Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp
Content-Transfer-Encoding: 7bit

こんにちは .
```

図 4: マルチパートメールの例

Mew は MIME に対応していますので，図 4 のようなメールを複数の部分に自動的切り分けて表示してくれます．各パート毎にファイルに保存することもできますし，一部のパートに対する返信を作成することも可能です．たとえば論文のテキストをメールで送る場合，非 MIME 対応なメールならば論文部分の切り取り作業を行なう必要があります．しかしマルチパートの一部として論文のテキストファイルを送付すれば，わざわざ自分で切り取り作業を行なう事なく，Mew の場合なら y を押すだけで，その部分をファイルに保存することができます．論文以外にも，例えばプログラムのソースコードテキストファイルならば，それを 1 つのパートとしてメールに同封することができます．

他に画像や音声ファイルを同封したメールなどの送受信が行なえます．画像や音声などのバイナリファイルを送信する場合，従来のメールではバイナリデータをテキストに加工する uuencode などの作業が必要でした．Mew ではファイルの内容を自動的に推測して，テキストに加工するという作業を行なってくれます．

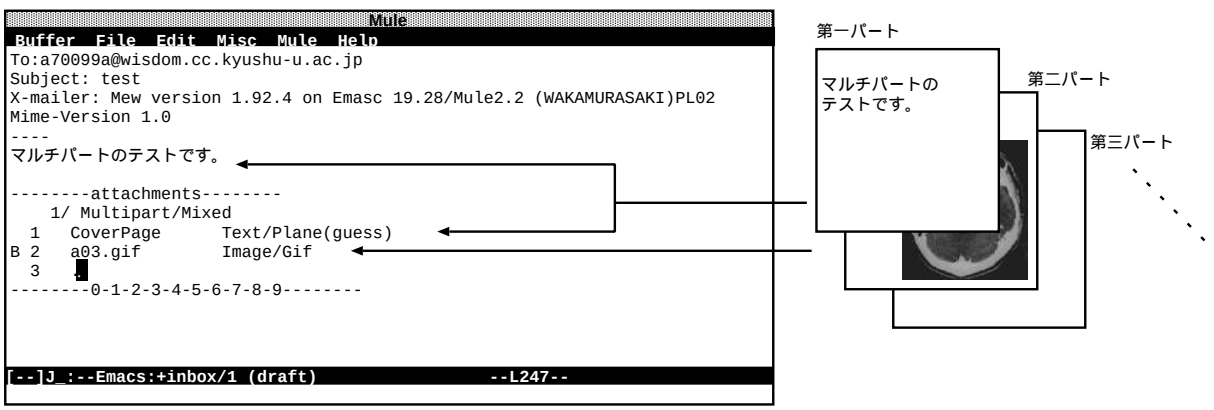

図 5: マルチパートメール

9.1 マルチパートメールの受信

マルチパートメールの受信は簡単です．普通のメールと同じようにスペースキーやリターンキーを押すことで読む事ができます．ただし，サマリモードでの表示が少し異なります．以下に二つの部分からなるマルチパートメールの表示例を示します．1 つの転送メールを受信した場合を表示しています．

```
  64  M06/20[13:33JST] Eisuke Itoh  Forward: [pgsql-jp 2025] DES cracked.
        1       Text/Plain
        2       Message/Rfc822
```

マルチパートの場合も普通の場合と同様に読む事ができます．各パートを表わす行にカーソルを合わせて，スペースキーやリターンキーを押せば，その内容が表示されます．

9.2 マルチパートメールの作成と送信：C-c C-a

新規メールの作成や，返事メールを作成している時に別のファイルを付記したマルチパートメールを作成する事ができます．新規メールや返事メールの作成中に，C-c C-a を押すと[1]マルチパートメールの作成が開始されます．この場合，画面は次に示すように変化します．ちなみにメールを転送する場合は最初からマルチパートメールになります．

最初

```
To: a70099a@wisdom.cc.kyushu-u.ac.jp
Subject: test
X-Mailer: Mew version 1.92.4 on Emacs 19.28 / Mule 2.2 (WAKAMURASAKI) PL02
Mime-Version: 1.0
----
マルチパートのテストです．
```

↓ C-c C-a を押す

マルチパート

```
To: a70099a@wisdom.cc.kyushu-u.ac.jp
Subject: test
X-Mailer: Mew version 1.92.4 on Emacs 19.28 / Mule 2.2 (WAKAMURASAKI) PL02
Mime-Version: 1.0
----
マルチパートのテストです．                          ← ここまでメールの本文
----------- attachments -----------
       1/                Multipart/Mixed
     1   CoverPage         Text/Plain(guess)     ← 本文が入る部分になるパート
     2   .                                       ← 次のパート．
--------0-1-2-3-4-5-6-7-8-9--------
```

----------- attachments -----------より上がこのメールの本文を書く部分です．本文は第 1 パートに対応しています．普通のメールのように文章を書いてかまいません． --------0-1-2-3-4-5-6-7-8-9-------- の上の 2 . の所に別のファイルを付記するができます．ここにカーソルを起き，c を押すとファイルの挿入を行なえます．ミニバッファに挿入ファイルの名前入力を促すように，Copy from : ~/と表示されます．ここで挿入したいファイル名を入力しリターンキーを押せば，挿入ができます．

例えば自分のホームディレクトリに置いてあるa03.gif というファイルを挿入する場合 ,Copy from : ~/a03.gif と入力します．次にミニバッファに Copy to (a03.gif): ■ と表示されます．後の方の表示は何という名前で挿入するのかを入力する場面です．名前の変更が必要なければそのままリターンキーを押しましょう．

[1]以前のバージョンでは C-c M でした．

マルチパート．a03.gif を挿入した後

```
To: a70099a@wisdom.cc.kyushu-u.ac.jp
Subject: test
X-Mailer: Mew version 1.92.4 on Emacs 19.28 / Mule 2.2 (WAKAMURASAKI) PL02
Mime-Version: 1.0
----
マルチパートのテストです．

----------- attachments -----------
       1/                Multipart/Mixed
     1   CoverPage         Text/Plain(guess)
B    2   a03.gif           Image/Gif            ← a03.gif が挿入された．
     3   .                                      ← 3 番目のパート入力行が追加される
--------0-1-2-3-4-5-6-7-8-9--------
```

ファイルの挿入はすぐには行なわれません．メール送信の所で説明したC-c C-m という操作を行なうと，メールの内容にパートの区切を表わす文字列の挿入，ファイルをテキストに変換しての挿入，などが実行されます．C-c C-m を行なった後のテキストの変更は，MIME に詳しい人以外行なわない方が無難でしょう．C-c C-c を入力して送信しましょう．

10 Rmail からの移行

Mule 上で使用できるメイラーに Rmail があります．Rmail は Emacs や Mule が使用できる環境であれば，どこでも使用できます．普段のメイラーに Rmail を使用している方も多いと思います．Rmail の形式で保存されているメールは，Mew で読む事ができません．この章では Rmail から Mew へ移行する場合について述べます．

図 6 に示しているように，Rmail ではホームディレクトリに RMAIL (標準設定) というファイルを作成し，そのファイル 1 つで全メールを管理します．たくさんのメールを 1 つのファイルで保存するという利点はありますけれども，メールを分類したり，加工したりといった細かな管理は難しいといった欠点があります．

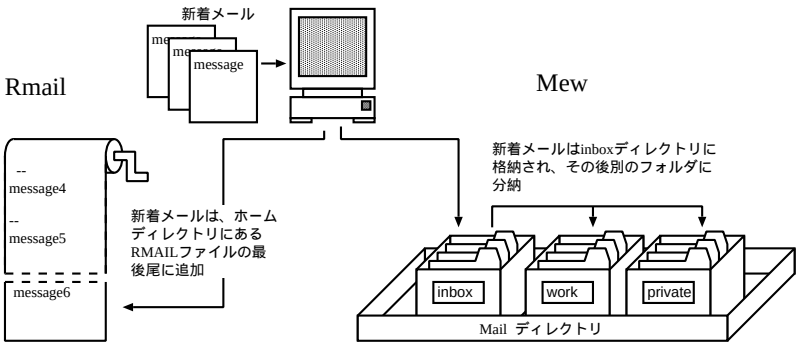

図 6: Rmail と Mew のメール管理方式

Rmail から Mew への移行する場合，Rmail 形式で保存されているメールを，Mew の形式に変換する必要があります．以下に示すコマンドを入力することで，ホームディレクトリにある RMAIL ファイルの中身を Mew 形式に変換することができます．

```
% cd ~/                                      ← ホームディレクトリへ移動
% mule -batch -f batch-unrmail RMAIL         ← 以前のメールを変換
% nkf -j RMAIL.mail > RMAIL.mail.jis         ← 文字コードを変換
% imget --src=local:$HOME/RMAIL.mail.jis     ← Mew 形式で取り込む
```

11 おわりに

電子メール用ソフトウェア Mew の使用方法について説明しました．現在，UNIX 上における電子メール用ソフトウェアで一番便利なソフトウェアは Mew だと思います．是非ご利用下さい．最後に Mew の操作一覧を表 1 に示しますので参考にして下さい．

参考文献

[1] Kazuhiko Yamamoto : "MEW, Messaging in the Emacs World," `http://www.mew.org/` .

[2] Simson Garfinkel : "PGP: Petty Good Privacy," O'Reilly & Associates, Inc, 1995. (訳書:: Simson Garfinkel 著, 山本和彦監訳 : "PGP 暗号メールと電子署名," 株式会社オライリージャパン, 1996.)

[3] RFC2045, 2046, 2047, 2048, 2049: "Multipurpose Internet Mail Extensions (MIME) Part One ~ Five," `ftp://ftp.kyushu-u.ac.jp/pub/rfc/2000/rfc2045.txt ~ rfc2049.txt` , November 1996.

表 1: Mew の操作

使用環境	Mule	
起動方法	M-x mew	Mule 上で，META キーを押したまま x を押し，その後 mew と入力．あるいは，ESC を 1 回押し，その後 x mew と入力する．
機能	**操作**	**説明**
終了	q	Mew 以外のバッファを表示．
	Q	直ちに終了．
メールを読む	SPC	メッセージを表示．ページダウン．
	DEL	メッセージをページアップ．
メールの追加	i	incorporate． Mew を起動した後に届いたメールを表示．
フォルダのスキャン	s	scan． フォルダ内に存在するメールを表示．
メールの並べ替え	S	Sort．フォルダ内のメールを日付順に並べかえる．
メールのリファイル	o	現在参照しているメールを別のフォルダに格納するために，リファイルマーク（o）を付記．
メールのパック	0	メールの番号が飛び飛びになっている場合，間を詰める．
メールの削除	d	delete． 現在参照しているメールに削除マーク（D）を付記．
マークの取消	u	undo． マークを消す．
	U	指定したマークを全部消す．
マークの処理	x	execute． マークを実際に処理．（リファイルと削除を実行）
メールを書く	w	write． 新規メールの記述．
返事を書く	a	answer． 届いたメールに対し返事を書く．
	A	予めメールを引用して返事を作成．
メールの引用	C-c C-y	yank． 表示されているメールを，現在記述中のメール内に引用する．
メールの転送	f	forward． 届いたメールを誰かに転送する．
マルチパート	C-c C-a	マルチパートメールの開始
	c	（マルチパート内で）挿入するファイルを指定
	d	（マルチパート内で）指定の取消
メールの作成取消	C-c C-q	メール作成を取り止める．
メールの送信	C-c C-m	MIME 対応の実行
	C-c C-c	メールの送信．